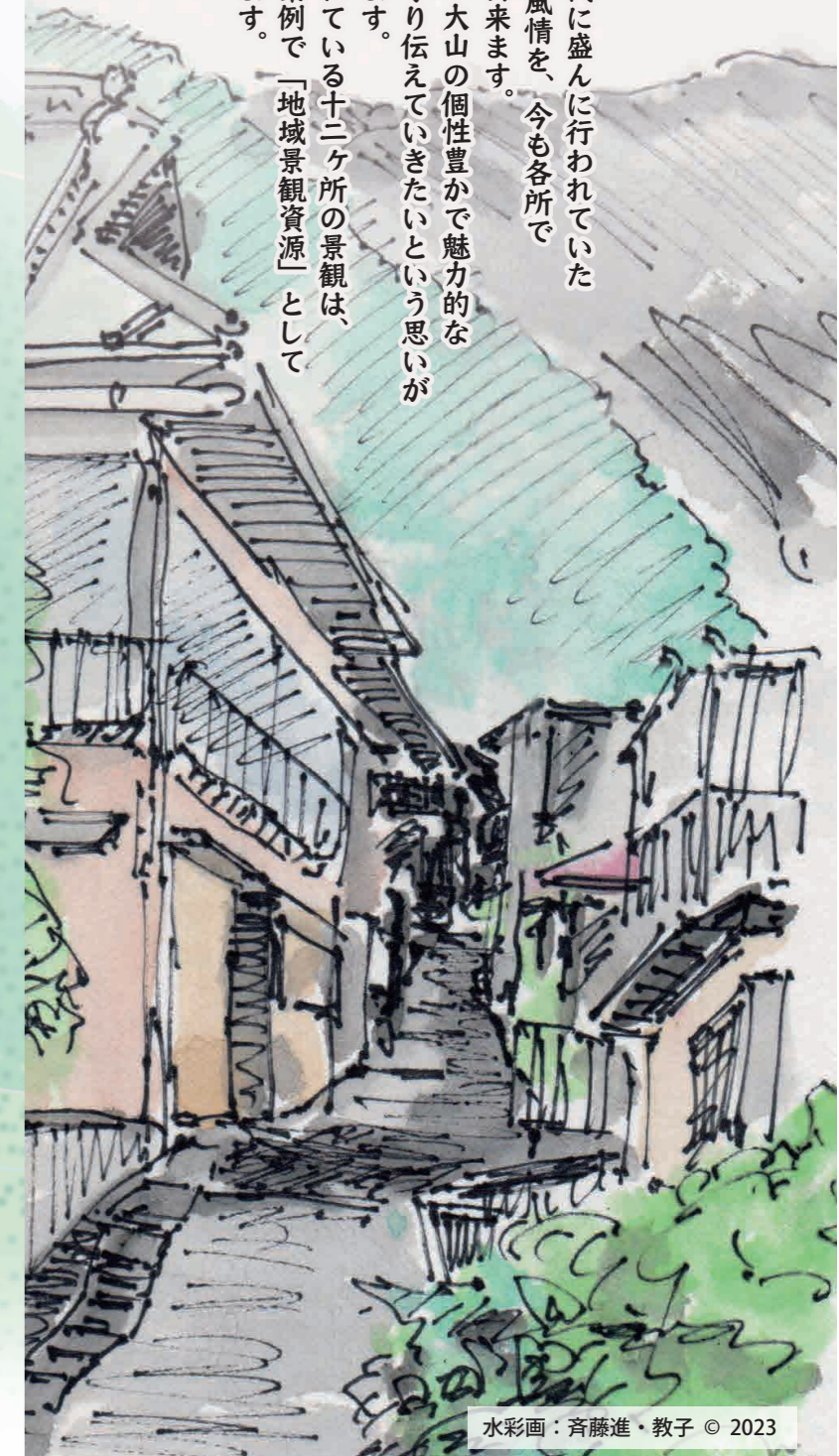


相州大山 景観絵図

大山は江戸時代に盛んに行われていた「大山参り」の風情を、今も各所で感じることが出来ます。この絵図には、大山の個性豊かで魅力的な景観を後世に守り伝えていきたいという思いが込められています。絵図に記載されている十二ヶ所の景観は、伊勢原市景観条例で「地域景観資源」として登録されています。



水彩画：斉藤進・教子 © 2023

製作：大山観光振興会
協力：伊勢原市都市部都市政策課
0463-94-4739

右のQRコードを読み込んで、伊勢原市都市部都市政策課のHPにアクセスしていただくと、詳細情報を見ることができます。



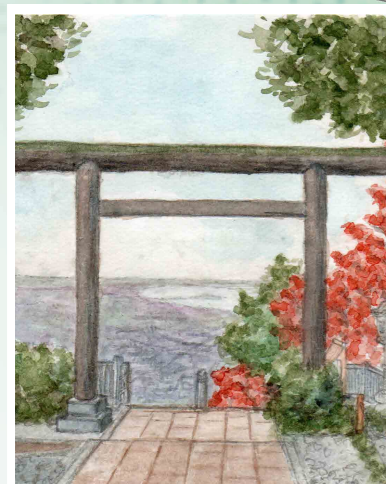
① 大山山頂からの眺望

1,252mの大山山頂からの眺望。阿夫利神社本社正面からは東京スカイツリーや房総半島などが、本社裏手からは富士山や丹沢の山々が見渡せる。



② 大山阿夫利神社下社

標高約700m、大山の中腹に位置する関東総鎮護の式内社。富士山の御祭神とは父娘にあたり昔から両参りも盛ん。



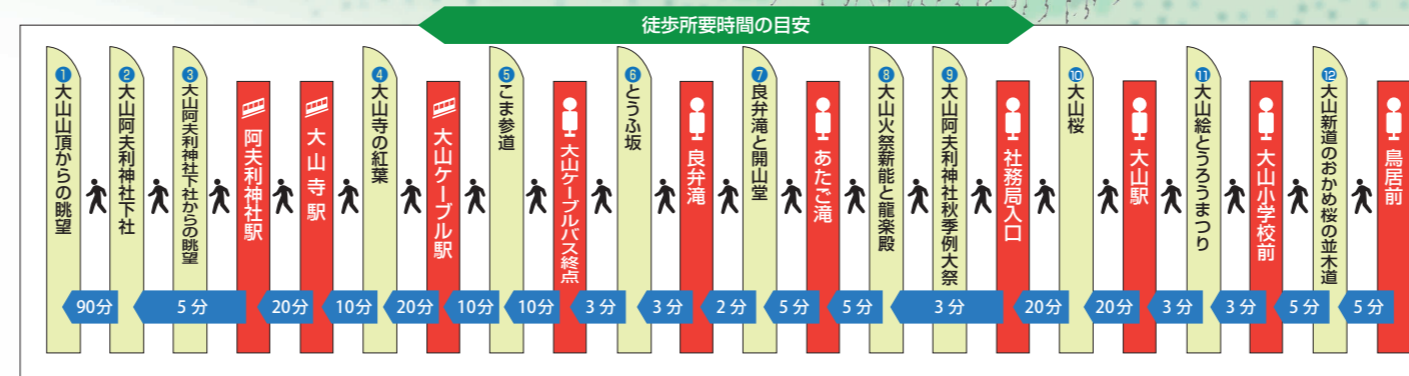
③ 大山阿夫利神社下社からの眺望

ミシュラン2つ星の眺望。横浜方面や江の島・三浦半島・房総半島・伊豆大島まで見渡せる。



④ 大山寺の紅葉

秋の伊勢原を代表する景観。毎年11月中旬～下旬にはライトアップも行われ、大山ケーブルカーも夜間運行される。

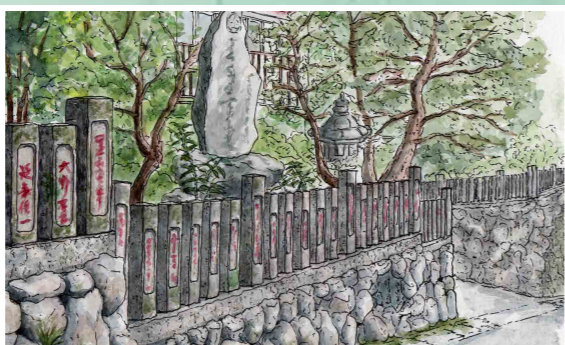




5 こま参道
バス終点から大山ケーブル駅まで続く、土産物屋や飲食店が立ち並ぶ、362段の階段と27の踊り場からなる参道。



6 とうふ坂
大山参りを彷彿させる宿坊や玉垣・石碑・板まねきなどが見受けられる、良弁滝バス停から千代見橋までの約300mの旧参道。



玉垣
神聖な神社などの境界の柵。宿坊にある玉垣は大山講が「この宿は我が大山講の定宿だ」という事を示したものの、同様に木製の「板まねき」や布製の「布まねき」も、宿坊街の風物詩である。



10 大山絵とろうまつり
毎年8月中旬に開催。ケーブルカーも夜間運行され、阿夫利神社下社やこま参道、大山新道などに多くの絵とろうが並ぶ。

7 良弁滝と開山堂

浮世絵にも多く描かれた、大山参りの際に身体を净めた禊ぎの滝と、大山寺を開山した初代別当「良弁僧正」ゆかりの御堂。



8 大山火祭新能と能楽殿
大山の新能は親世流宗家が演じる格式ある能で、毎年10月初めにこの大山阿夫利神社社務局の能楽殿にて開催される。



9 大山阿夫利神社秋季例大祭
毎年8月27日～29日に開催。御祭神を阿夫利神社下社から行列を成して山麓に迎え、町内御輿や神楽・能狂言などで神様をもてなす。



11 大山桜
上桜・下桜などがある、里山に咲く樹齢400年超の大きな山桜。例年はソメイヨシノよりも約1週間あとに開花する。



坂東三獅子
我が子を谷底に投げ落とし、這い上がってきた子だけを育てるという獅子の俗説から、我が子に試練を与え才能を試し立派に育てるという子育て信仰があった。この三獅子は良弁滝の近くにあって関東大震災の山津波により流され、ここに移設された。



12 大山新道のおかめ桜の並木道
大山新道沿いに150本以上のおかめ桜が立ち並び、年々その数を増やしている。例年3月上旬には濃いピンクの花を咲かせる。